

# 調べよう！伝えよう！「身近なモノの歴史」

高校 2年

世界史 A

目次・奥付を使って調べる

ねらい

- 本の目次・奥付を活用して、必要な情報を探し出し、記録することができる。
- 集めた情報を整理し、一枚のシートに「○○の歴史」というタイトルでまとめることができる。

## 学習展開・・・・・・・・

- ①一人一冊本を選ぶ。
- ②目次・奥付の使い方の演習をする(学校司書)。
- ③調査シートの各項目の情報を探し、記入する(起源・発祥、歴史、現在の様子、トリビアなど)。
- ④集めた情報、特に「歴史」の部分に着目し、発表シート(ポスター)のサブタイトルを考える。
- ⑤発表シートを作成する。図や絵、色、レイアウトなど、人に伝わりやすくなるよう表現を工夫する。
- ⑥4人グループに分かれ、グループ内で一人ずつ発表する。発表後はグループ内で感想やコメントを伝えあう。
- ⑦学習や発表の感想をふりかえりシートに記入する。



### ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭が職員研修会を計画し、本の目次・奥付を使った「調べ方の演習」を教職員間で情報共有。
- 司書教諭、学校司書、担当教諭が連携して「調べ方の演習」を計画し、ワークシートを作成。
- 学校司書が担当教諭と連携し、調べる本を収集。授業に T.T で入り、演習やガイダンスを実施。
- 学校司書は担当教諭と相談しながら、生徒へレファレンス対応。完成作品を図書館で展示した。

### ★指導のポイント

- ◆ 本は、一つの「モノ」をテーマにし、内容にその「モノ」の歴史を含んだものを用意する。
- ◆ 前年度の作品をプロジェクターで投影し、サブタイトルのつけ方や、発表シート作成の参考にさせる。
- ◆ 発表全体のテーマになるようなサブタイトルをつけるよう指導する。

### 資料

『世界の発明発見歴史百科』テリー・ブレヴァートン/著(原書房)、『身近なものはじまり』シリーズ(PHP研究所)、『お菓子の図書館』シリーズ(原書房)、『おにぎりの文化史』横浜市歴史博物館/監修(河出書房新書)他、県立図書館から約60冊借受